

現高知県情報ハイウェイの 概要及び利用状況について

2018年7月9日

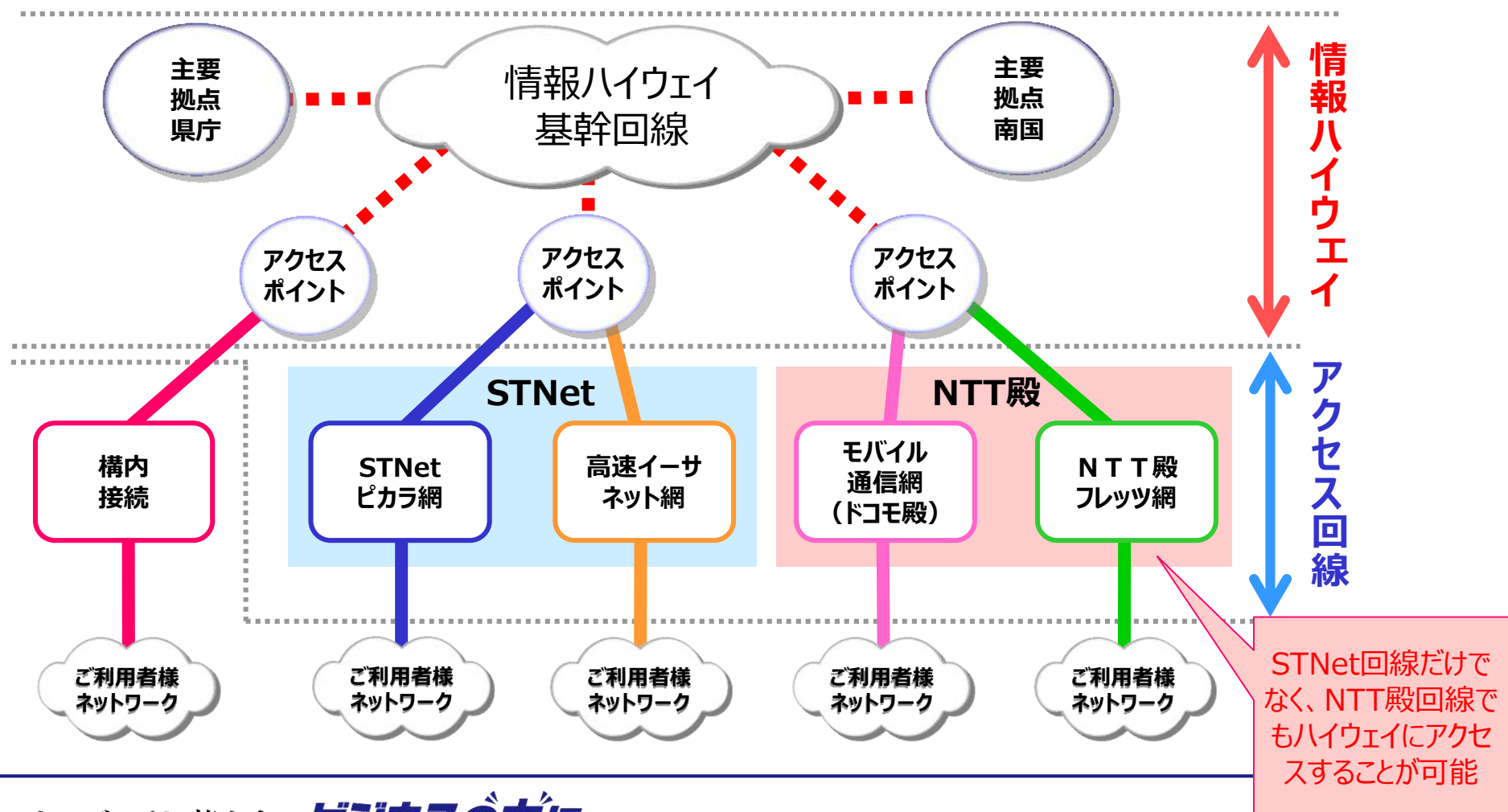
株式会社 STNet



1. 高知県情報ハイウェイとは	2	～	4
2. 高知県情報ハイウェイの特長	5	～	13
3. 高知県情報ハイウェイの利用状況と推移 . . .	14	～	17
4. 現高知県情報ハイウェイのまとめ	18	～	19
5. 次期情報ハイウェイに向けた課題	20	～	21

1. 高知県情報ハイウェイとは

高知県様が運営管理する、県・市町村・公立学校等の公共機関が利用することを主な目的とした、全県的な情報通信ネットワークです。



現在、株式会社 S T N e t が高知県様から運営を受託し、サービス提供しております。

※提供期間 平成 2 2 年 4 月 1 日～平成 3 2 年 3 月 3 1 日

会社概要

S T N e t は、四国電力グループの一員として、「情報と通信の融合」を理念に、情報システム事業と通信事業を併せて展開しております。情報と通信の両分野を併せもつメリットを最大限に活かした新しいサービスを提供していくことで、存在感のある「総合 S I 提案企業」として皆様のお役に立てるよう全力で取り組んでおります。

■ 名 称	株式会社 S T N e t （エスティネット）	■ 代表者	溝渕 俊寛（みぞぶち としひろ）
■ 所在地	本社：香川県高松市春日町 1 7 3 5 番地 3 高知支店：高知県高知市本町 4 丁目 1 番 1 6 号		
■ 営業拠点	本店（高松）、支店（高松・松山・徳島・高知・東京）、営業所（宇和島・新居浜・中村・池田）		
■ 設立年月	昭和 5 9 年 7 月 2 日	■ 資本金	1 0 0 億円（四国電力100%出資）
■ 従業員数	6 4 8 人（平成29年3月末現在）	■ 売上高	約 3 7 5 億円（平成 2 9 年度実績）



2. 高知県情報ハイウェイの特長

● 閉域網(※1)でセキュリティ性の高いネットワーク

高知県情報ハイウェイは、高知県様および市町村様など、県内公共機関様間の重要事項や機密事項の取り交わしに適した安全なネットワークです。

(※1) 閉域網

インターネットのように誰もが利用できるオープンなネットワークに対し、「他のユーザーから直接アクセスを受けない”閉じた”ネットワーク」のこと。つまり、閉域網とは他のユーザーから分離されたセキュリティ性の高いネットワークのこと。

● 障害にも強い安定したネットワーク

回線や機器については、可能な限り二重化構成をとっているため、障害時においても業務への影響を軽減できるよう設計しています。

また、24時間365日の監視・保守体制をとっているため、万が一、障害が生じた場合でも、迅速な復旧が可能です。

● 用途別VPN(※2)の設定

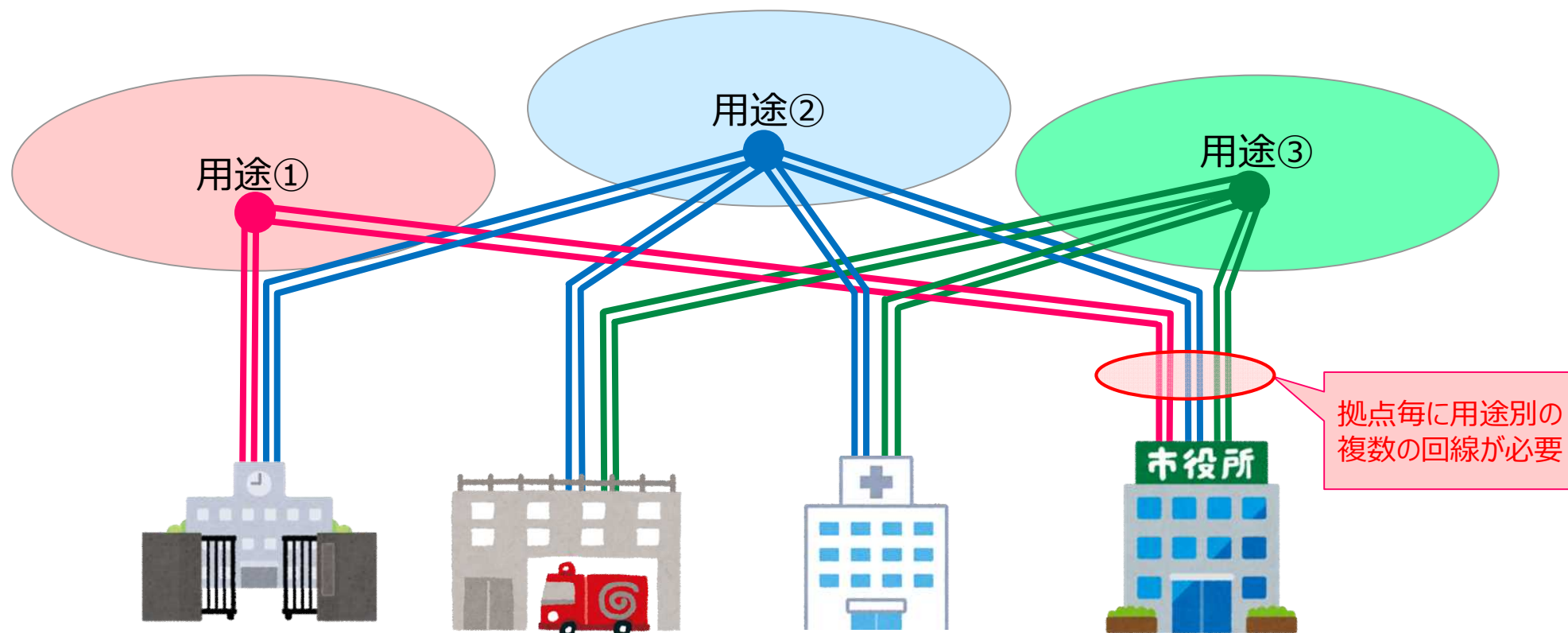
情報ハイウェイご利用者様は、物理回線1回線のみを接続し、その中を用途ごとにVPN（論理回線）を設定するだけで接続できるため、費用対効果が高いネットワークです。

(※2) VPN(Virtual Private Network)

共有ネットワーク上にプライベートネットワークを構築すること、またはそのための技術。通信相手との間に仮想的なトンネルをつくることにより（トンネリング）、セキュリティ性を高めた通信が可能となる。ハイウェイにおけるVPNは「論理回線」の意味。物理回線1回線の中に複数のVPNを設定することで、費用対効果を高めている。

■ 一般的な商用サービスの場合

個人情報など、重要な情報をやり取りする場合には、閉域網の整備が必要となります。
→用途が複数ある場合、それぞれ回線費用が生じ、コストが膨らみます。

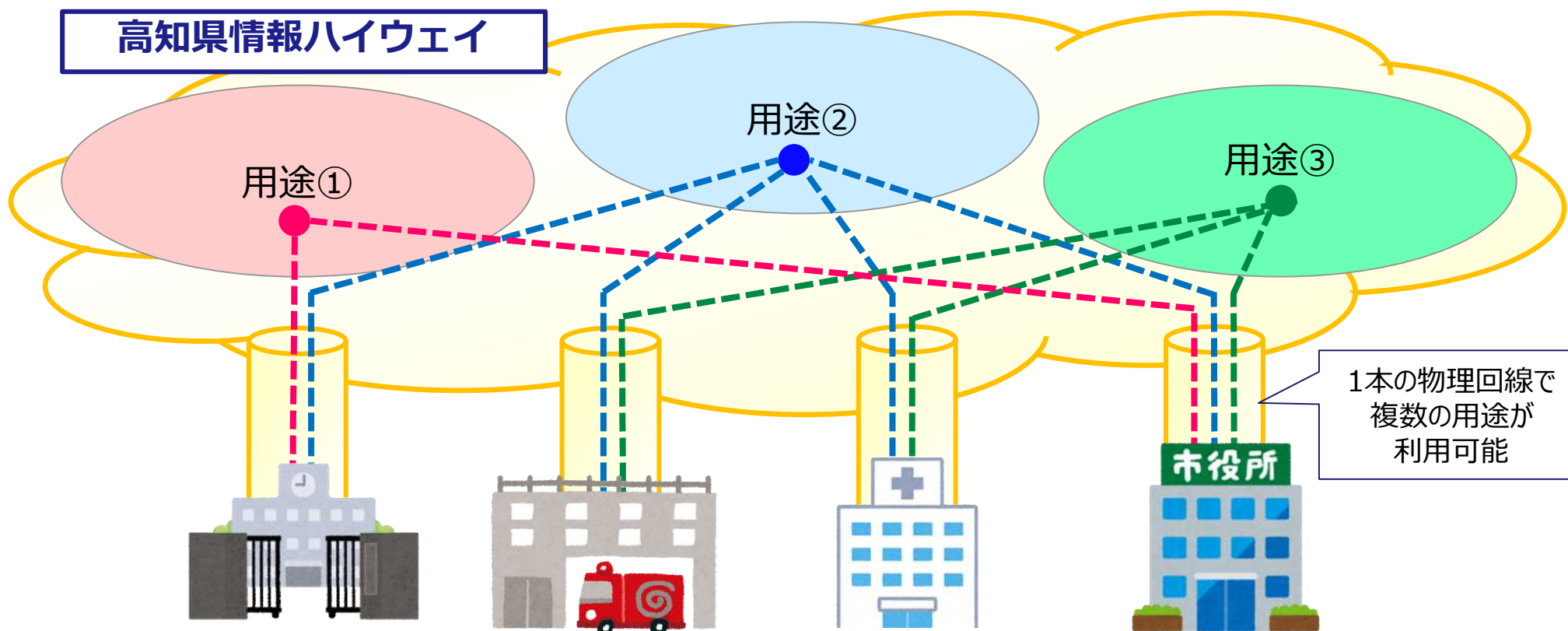


■ 高知県情報ハイウェイの場合

物理回線の中にV P N（論理回線）を設定できますので、ご利用者様は最寄のアクセスポイントまでの物理回線 1 本をご準備いただければ、複数のネットワークやシステム利用など、用途に応じたご利用が可能となります。

→回線費用を抑えることができるので、コストメリットが非常に高いです。

高知県情報ハイウェイ



2. 高知県情報ハイウェイの特長

VPN名	ご利用用途	主なご利用団体
県庁VPN	県庁内部の情報連携用	高知県様
教育VPN	学校間の情報連携用	小中高校等様 県・市町村教育委員会様
LGWAN VPN	LGWAN接続用	高知県様 各市町村様
インターネット用VPN	インターネット接続用	高知県様 各市町村様
基幹系システム等VPN	データセンターとの接続用	高知県様 各市町村様
セキュリティクラウドVPN	セキュリティクラウド接続用	高知県様 各市町村様

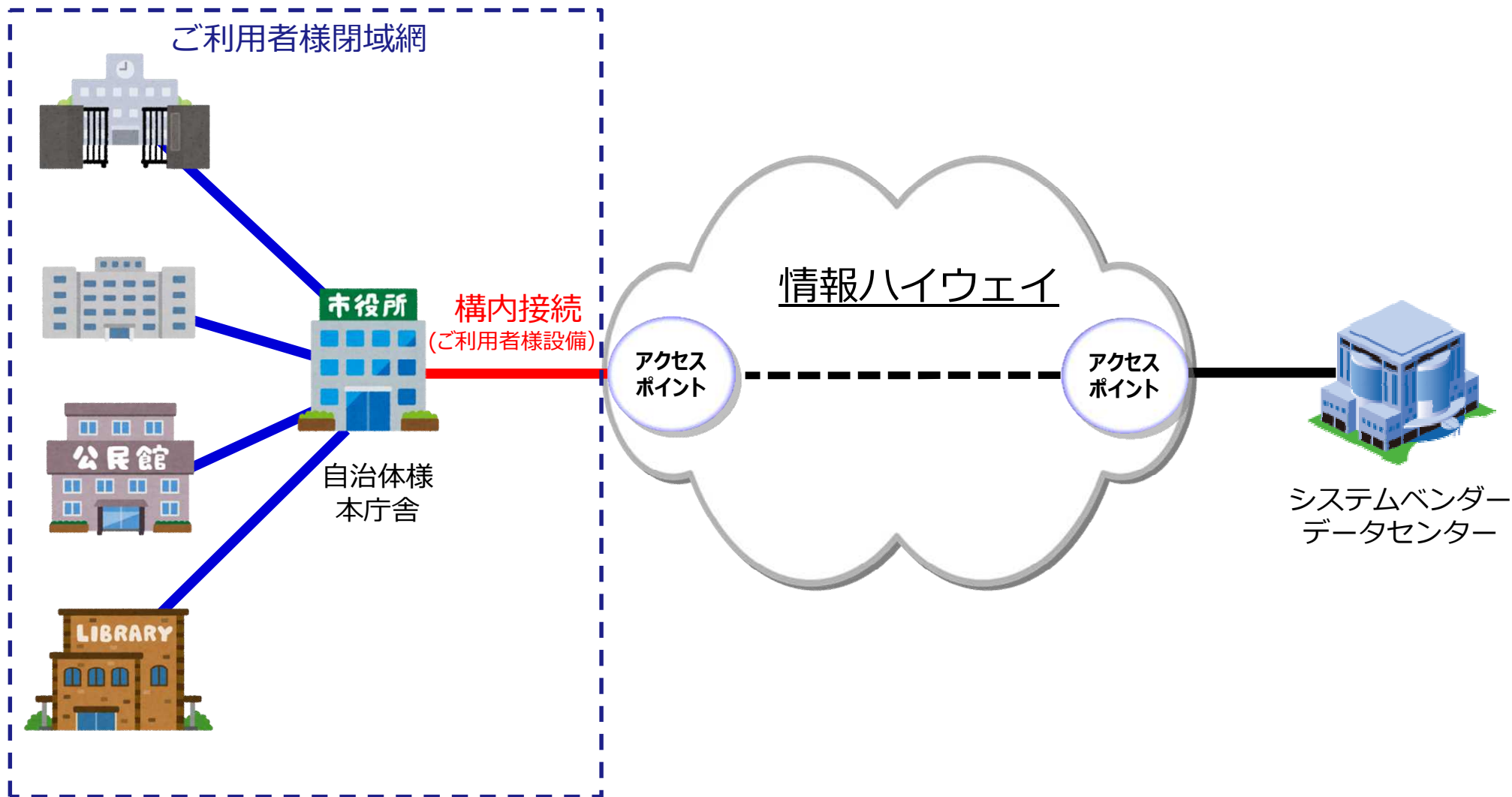
●平成30年5月時点で、約1,700のVPNが存在し、用途別にご利用されています。

● ハイウェイ独自サービスの構内接続

構内接続のメリットとして、「ご利用者様閉域網との接続」があります。

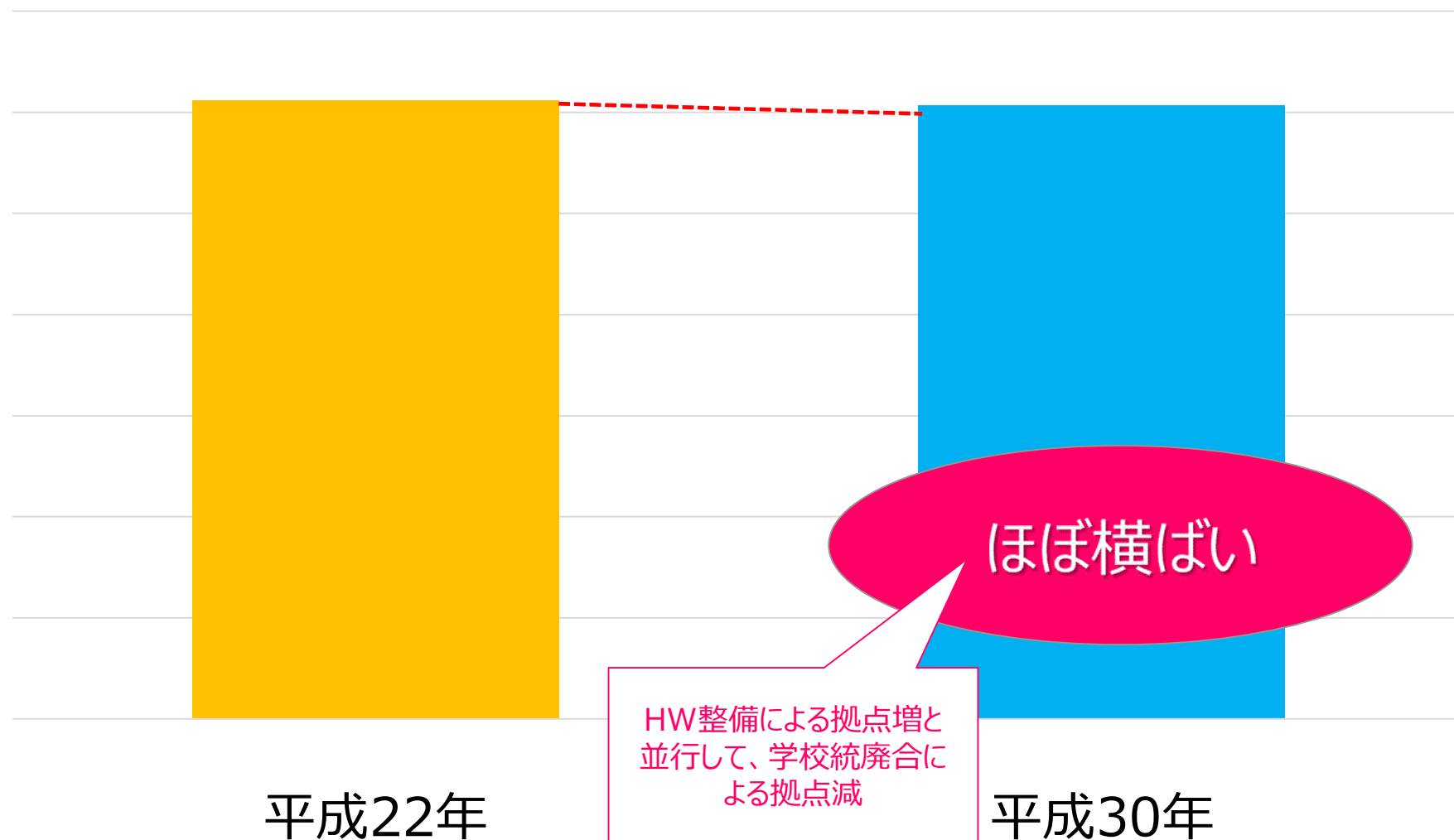
具体的には、ご利用者様がお持ちの光回線などを利用して、アクセスポイントまで接続いただくことで情報ハイウェイが利用できますので、ご利用者様の回線設備の有効活用が可能となり、コストメリットが享受できます。

■ 構内接続イメージ図

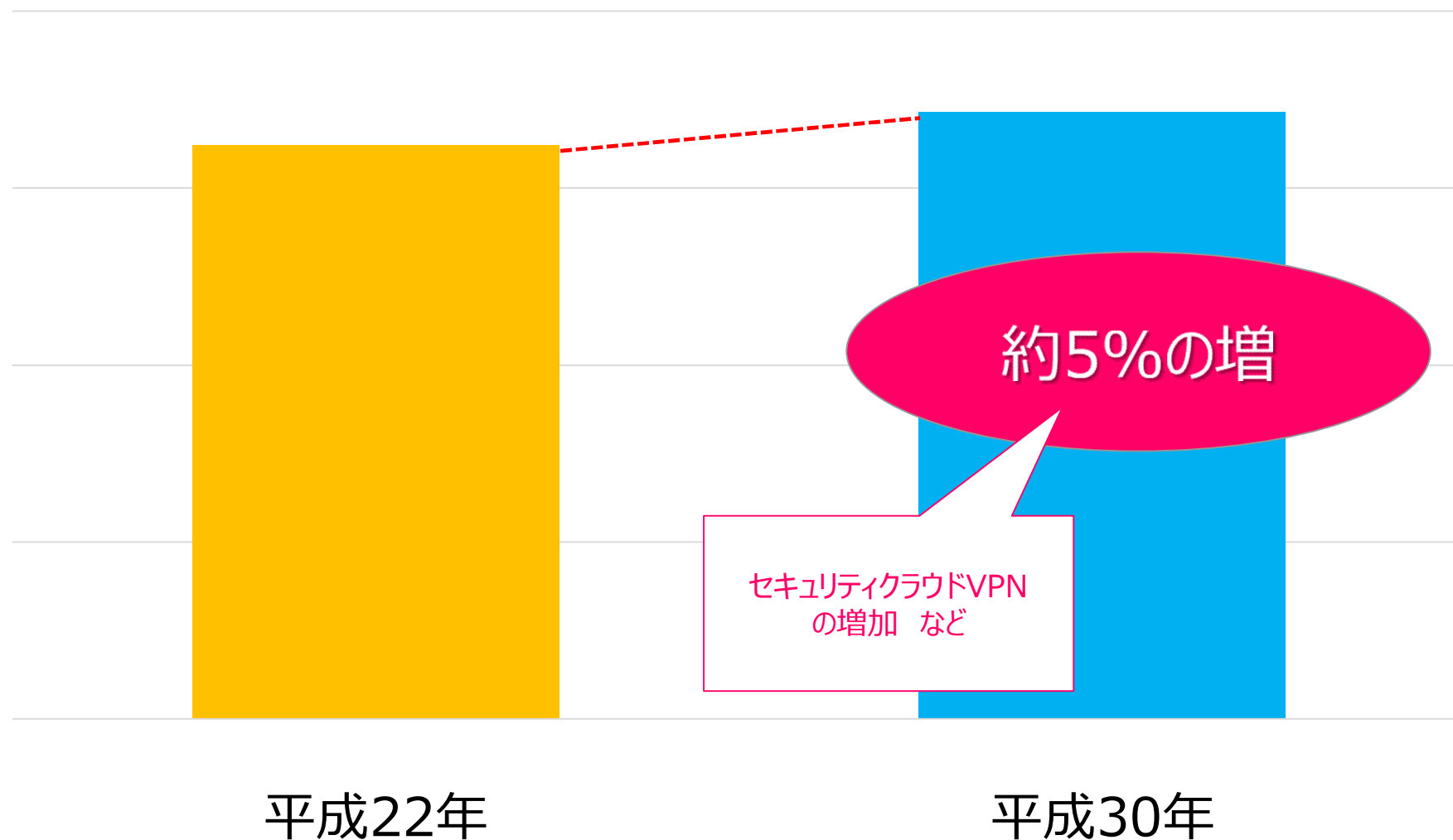


3. 高知県情報ハイウェイの 利用状況と推移

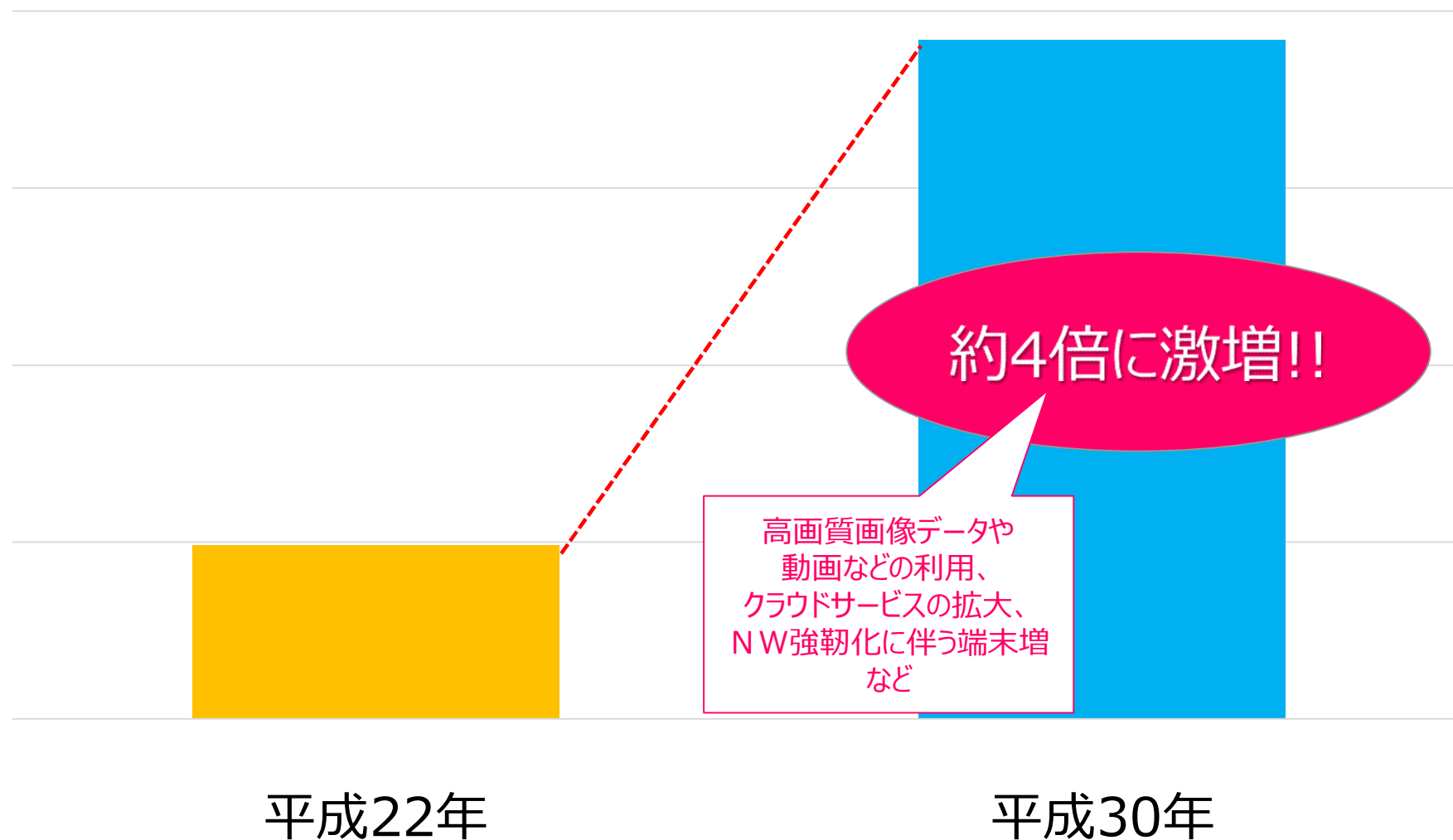
拠点数



VPN数



最大トラフィック



4. 現高知県情報ハイウェイのまとめ

高知県情報ハイウェイとは・・・

- 高知県・市町村・公立学校等を繋ぐ**全県的な通信回線網**
- セキュリティレベルを確保した**閉域ネットワーク**
- VPNや構内接続にて**費用対効果を高めた構成**



その安全性・利便性・経済性から、
当初の想定を上回るご利用をいただいております。

5. 次期情報ハイウェイに向けた課題

●さらなる通信速度の向上

通信量については、今後ますます増加することが想定されるため、これに対応した**大容量の通信回線が必要**

●さらなる信頼性の向上

万が一の障害時においても、ご利用者様の業務が遅滞することのないよう、**より安全性を高めたネットワークの構築が必要**